

本ハザードマップの目的

「土砂災害ハザードマップ」は、地震や梅雨期の集中豪雨や台風に伴う豪雨などにより、土砂災害が発生した場合に被害を受けるおそれのある「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」を示し、市民の皆さんに避難などの適切な行動をとっていただくために作成したものです。日頃からご家族や地域の方と話し合っておいただき、災害による被害の軽減にお役立てください。なお、大地震に対する備えなどについては、裏面の「防災マップ」をご覧ください。

● 土砂災害警戒区域・特別警戒区域について

このハザードマップは、県の指定区域をもとに作成したものです。
(区域の指定に関してのお問い合わせ 神奈川県横須賀土木事務所 TEL：046-853-8800(代))

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)	土砂災害が発生した場合、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがあると認められた土地の区域のことで、危険の周知や警戒体制の整備など避難行動の目安となる区域です。
土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のことで、一定の開発行為の制限や建築物の構造に規制がかかる区域です。

ハザードマップを見るポイント

地図に色がついている区域は、災害発生時に被害を受けるおそれのある区域です。自宅が当てはまるときは危険区域の外への避難が基本です。

土砂災害の危険があっても、マンションの上層階や崖から離れた部屋、2階以上の部屋への移動などで安全確保できる場合は、自宅に留まることも可能です。



二春町
堀之内

自宅が危険区域に当てはまらないときは、自宅での避難を検討しよう。
色がついていなくても、崖の近くでは、状況に応じて避難できるよう備えよう。

風水害時に開設する自主避難所

避難に時間がかかりそうな場合や、自宅の周りの状況などから、市が「避難勧告」や「避難指示」を発令する前から始め避難する人のため、市では自主避難所を開設します。

自主避難所となる施設	体育会館とコミュニティセンターの中から、風水害の状況に応じて市が開設する施設を決定します。
開設を周知する方法	自主避難所を開設するときは、防災情報メール、防災行政無線、市ホームページ、市公式ツイッター・LINEなどでお知らせします。

市が開設する避難所に行くことだけが避難ではありません。安全を確保できる親戚や友人の家なども、避難先として有効です。

お問い合わせ：横須賀市危機管理課
TEL：046-822-9708 / FAX：046-827-3151
e-mail：ps-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

いざという時の避難計画「マイ・タイムライン」を作ろう

避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。安全確保に必要な行動は、家族構成や生活状況などにより異なります。自分の状況に合わせた避難計画を時系列で整理したものを「マイ・タイムライン」といいます。あらかじめ身近な人と話し合っておいて、「いつ」「何をやるのか」を整理しておくことで、風水害時の行動チェックや判断のサポートになります。

台風を想定した場合の基本的流れ

平常時
数日前
数時間前
災害発生

ハザードマップを確認
避難先や避難の方法、避難を始めるタイミングを事前に決めておく。

気象情報を確認
テレビやラジオ、インターネットなどを活用し、気象情報を確認しておく。

避難準備
持ち出し品や避難のタイミングをいま一度確認する。

市が「自主避難所」を開設
タイミングを見計らって避難を開始する。

市が「避難勧告」・「避難指示」を発令
避難・安全確保のための行動をとる。

市からの情報は防災メール・防災行政無線・市ホームページなどでお知らせします。

● 普段から周囲の人と話し合っておくべきこと。
● 避難準備を始めるタイミングも決めておきましょう。
● 移動にかかる時間を考慮し、避難開始のタイミングを決めよう。避難経路に崖の近くなど危険な場所がないか、事前に確認しておくことも有効です。

避難のタイミングを逃さないよう、こまめな情報収集を

こんなことに気をつけてください

■ 土砂災害の前兆現象に注意
土石流・地すべり・急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)、それぞれの前兆現象に注意を払いましょう。



■ 避難時には安全な服装・履物で
強風であられないよう傘はささずにカッパを着用し、足元は脱げにくく歩きやすい、ひもでめられる運動靴を着用しましょう。



■ 近所へも目を向けましょう
お年寄り、子ども、障害のある方、病気の方などは避難時間を要するため、早めの避難が必要です。災害が発生するおそれのある時には、地域の皆さんが協力し合って安全に避難しましょう。

災害時の情報収集手段

防災情報メール
携帯電話・スマートフォンなどに防災行政無線の放送内容をメールで送信します。

登録方法
下記アドレスに、空メール(本文に何も入力しないメール)を送信
bousai-yokosuka@raiden.ktaiwork.jp

登録案内メールが届きます。
案内に従って手続きしてください。
(通常文・ひらがな・英数字の3種類から選べます。)

防災行政無線 地震などの災害情報、気象情報などを放送
電話で防災行政無線の放送内容をご案内
防災情報テレホンガイド TEL：046-822-3900

市ホームページ・ツイッター・LINE
市公式ツイッター・LINEでは防災行政無線の内容を通知します。



テレビ(データ放送)
リモコンの[d]ボタンから「天気」が「災害情報」を選択(株)ジェイコム湘南・神奈川(デジタル11チャンネル)でも放送

ラジオ(FMブルー湘南)78.5MHz
大規模災害時は地域に特化した防災情報を放送
インターネットでも聞くことができます。

この横須賀市土砂災害ハザードマップ(西地区2)は、5,000部製作し、1部あたりの印刷経費は117.5円です。

